

公立大学法人青森県立保健大学  
平成30年度 業務実績評価書

令和元年8月

青森県地方独立行政法人評価委員会



# 目 次

第一	評価の基本的な考え方	-----	1
第二	評価の結果		
1	全体評価		
(1)	総評	-----	3
(2)	業務の実施状況	-----	4
(3)	組織、業務運営等に係る改善事項等	-----	4
2	項目別評価		
(1)	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）	-----	5
(2)	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）	-----	6
(3)	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）	-----	7
(4)	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画	-----	8
(5)	財務内容の改善に関する目標を達成するための計画	-----	8
(6)	教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに 当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画	-----	9
(7)	その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画	-----	9

## 第一 評価の基本的な考え方

青森県地方独立行政法人評価委員会は、地方独立行政法人法第78条の2第1項及び第3項の規定に基づき、公立大学法人青森県立保健大学（以下「青森県立保健大学」という。）の平成30年度における業務の実績について、以下の基本的な考え方により評価を行った。

評価の実施に当たっては、青森県立保健大学の年度計画に定めた事項ごとにその実績等を明らかにした業務実績報告書及び法人への聴取等に基づき調査・分析を行い、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行う。

### 1 項目別評価

中期計画に掲げる次の事項ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特筆すべき事項の内容を総合的に勘案して、5段階により評価する。なお、教育研究については、その特性に配慮し、専門的な観点からの評価は行わず、外形的な進捗状況を評価する。

- (1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）
- (2) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）
- (3) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）
- (4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画
- (5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画
- (6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画
- (7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画

#### 〔5段階〕

- 5：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
- 2：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。
- 1：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

### 2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、平成30年度における業務実績の全体について、記述式により総合的に評価する。また、必要がある場合は、業務運営の改善その他の勧告をする。

青森県地方独立行政法人評価委員会委員及び専門委員

区 分	氏 名	役 職 等
委員長	伊 藤 成 治	国立大学法人弘前大学 理事・副学長
委員（委員長職務代理者）	大 矢 奈 美	青森公立大学経営経済学部 准教授
委員	田 中 正 子	株式会社エール・キャリアスタッフ 代表取締役
委員	西 川 弥 生	税理士
委員	西 原 和 昭	日本政策金融公庫 青森支店 農林水産事業 事業統轄
専門委員（大学関係）	梅 庭 牧 子	青森県国民健康保険団体連合会 保健活動推進専門員

## 第二 評価の結果

### 1 全体評価

#### (1) 総評

青森県立保健大学は、本県の保健、医療及び福祉に係る諸課題の解決に向けて取り組むことを理念として、人間性豊かでグローバルな視点を持ち、地域特性に対応できる能力を兼ね備えた保健、医療及び福祉の中核的役割を果たすことができる人材を育成すること、並びに保健、医療及び福祉の教育研究拠点として培った人的資源や教育研究成果を広く地域社会に還元するとともに、産学官民の連携した取組による地域貢献活動を展開し、県民の健康と生活の向上に寄与することを使命としている。

第二期中期目標・計画期間（平成26年度から令和元年度まで）の5年目となる平成30年度は、きめ細やかな学生への指導をはじめ、学生のキャリア支援の充実等により、各種国家試験合格率について高い水準を維持しており、高い成果を上げたと認められる。

年度計画については、中期計画の達成に向けて、ほぼ計画どおりに実施したと評価できる。

(2) 業務の実施状況

業務の実施状況は、全体として年度計画に定めた事項は着実に実施されている。

<評価結果の概要>

	特筆すべき 5	順 調 4	おおむね順調 3	やや遅れ 2	著しく遅れ 1
(1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画 (教育)		○			
(2) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画 (研究)		○			
(3) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画 (地域貢献)		○			
(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画		○			
(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画		○			
(6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画		○			
(7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画		○			

(3) 組織、業務運営等に係る改善事項等

特に改善勧告を要する事項はない。

## 2 項目別評価

(1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）

評価

4：中期計画の達成に向けて  
順調な進捗状況にある。

### <評価の理由>

年度計画の記載67項目中1項目が「年度計画を上回って実施している」、64項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたが、大学院生の研究発表の促進に係る2項目（博士前期課程及び博士後期課程の各1項目）について、一人当たりの査読のある学術雑誌への投稿件数が目標に届かなかったことから「年度計画を十分には実施していない」と認められた。

「年度計画を十分には実施していない」とされた項目はあったものの、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

### <特に評価する事項>

- ・ 各種の国家試験の合格率が全て全国平均を上回り、特に看護師では100人以上の受験者全員合格を達成したこと、社会福祉士及び精神保健福祉士では大幅に全国平均を上回ったことは、きめ細やかな学生への指導も含めて高く評価できる。
- ・ 社会生活における柔軟性や実践力のある人材の育成、学生が安心して学修できる環境づくりに熱心に取り組んでいる。

### <その他の意見>

- ・ 大学院課程の研究発表については、投稿件数といった数値目標以外の評価指標の設定も検討していただきたい。
- ・ 青森東高校との高大連携事業については、県立大学であることを考慮すれば他地区の高校との連携についても検討していただきたい。

### ※1 各種国家試験合格率及び就職率

#### H30 主な国家試験合格率

看護師100%、保健師96.7%、助産師100%、理学療法士96.4%、社会福祉士82.4%、精神保健福祉士100%、管理栄養士97.1%。

#### H30 卒業生就職率

学部全体98.6%



(2) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）

評価

4：中期計画の達成に向けて  
順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載8項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

- ・ 知的財産の活用のための取組を継続的、積極的に行っている。
- ・ 研究懇話会開催や学内研究費助成の実施など、研究活性化に取り組んでいる。
- ・ 地域と連携しながら地域課題解決に向けた研究活動を実施しているほか、研究成果を企業等との事業化などにより社会還元できるよう努力している。

<その他の意見>

次期中期目標又は中期計画においては、複数年をかけて実施する研究に係る実績評価については、単年度ごとに評価指標を明確にして評価することを検討していただきたい。

(3) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）

評価

4：中期計画の達成に向けて  
順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載11項目中1項目が「年度計画を上回って実施している」と認められ、10項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

- ・ 「女子学生の県内就職・定着に向けた教育プログラムの開発」は高く評価できる。
- ・ 県内就職説明会の参加企業数、参加学生数が増えている。
- ・ 県内自治体や関係団体等との連携した取組も拡がりつつあり大学の機能を生かした地域貢献ができていると評価する。

<今後の課題とする事項>

県内就職率については、大学全体として課題を共有し様々に取り組んでいることが伺われるが、今後も行政や民間企業とも連携し、継続した取組による更なる向上を期待する。

※2 H30 県内就職率 全学部合計36.3%

看護学科33.0%、理学療法学科37.0%、社会福祉学科51.0%、栄養学科22.6%、

(参考) 目標44.4%以上

(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画

評価

4：中期計画の達成に向けて  
順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載11項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

- ・ 産業能率大学通信講座の自己研修助成枠適用をはじめ、大学職員への職場内・外での研修機会の提供、計画に即した専門的職員の育成の取組など、積極的な姿勢が評価できる。
- ・ 効率的な業務運営のための会議や内部監査を継続的に実施している。

(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画

評価

4：中期計画の達成に向けて  
順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載11項目中10項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたが、資産の有効活用に係る項目について、職員宿舎の入居率が、平成29年度と比較して約6ポイント低下（約67%→約61%）したことから、「年度計画を十分には実施していない」と認められた。

「年度計画を十分には実施していない」とされた項目はあったものの、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

科学研究費補助金の獲得に関し、申請書の記載に関する講習会や学内説明会を開くなど、積極的に申請を促すとともにサポート体制の構築に努めている。

<その他の意見>

職員宿舎については、今後の利活用を検討していただきたい。

(6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画

評価

4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載6項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたこと等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

広報媒体を活用した情報の公開について、常に見直しを行い前向きに取り組んでいる。

(7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画

評価

4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。

<評価の理由>

年度計画の記載8項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたこと等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。